

TGR RALLY CHALLENGE in 恐竜勝山:福井 (2019/5/26)



前夜はサポートメンバーと一緒に主催者企画のパーティーでバーベキュー、デザートのアイスcreamを堪能

2019年 TGRラリーチャレンジ 第3戦に零号車にて参戦。

SS4で無念のリタイヤとなる。

弊社社長の鈴木もドライバーとして参戦、後一步で入賞という好成績。

テレビ取材も入り、活気溢れるラリーで残念な結果となってしまったが、学ぶ事/反省点も沢山有り、今後の活動への糧に。



応援に来てくれた皆さん(アルちゃん、ネロちゃんも)



ドライバー : 澤井 元次
コドライバー: 村山 朋香
車両 : 零号車
結果: C-3 クラス リタイヤ



ドライバー : 鈴木 裕一郎
コドライバー: 大島 健資
車両 : ERC 参号車
結果: C-3 クラス 7位

サポート/応援/激励(敬称略) : 飯塚 信司、池田 裕徳、荒畑 俊一郎、川崎 博之、花田武志、伊藤 優紀、清水 啓佑
宮崎 龍太郎、長友 謙悟、加藤 いづみ、鈴木いづみ、アルちゃん、ネロちゃん、速水 水速(記)

ラリーチャレンジ第3戦 恐竜勝山 2019/05/25-26

ドラ/コドラ：澤井/村山

総距離：47.96km

SS：9.72km

2019年ラリーチャレンジ第3戦の恐竜勝山戦。
広島戦でのドライブシャフト破損、先日行われたラリーレッスンでもクルマを傷つけてしまったため、なんとでも無事帰ってくることを目標にしていざ出陣！！
しかし結果として、午後1本目のSS4で左コーナーを曲がりきれずにコースアウト。
去年の石狩に続きリタイアしてしまいました。

【澤井】

まずは、わざわざ応援に来てくださった方々、サポート頂いた方々には、非常に残念な結果で、絶対目標だった、「完走して記録を残す！」を、達成することが出来ず、本当に申し訳ありませんでした。

原因は簡単に言えば、オーバースピード。
いけないはずのレンジで、自分の中のいけると感じてしまう感覚が、まだまだ未熟だと思い知らされるのと同時に、今回はコースアウトで済んだものの、崖から墜落なんてことも有り得るかもしれないと、改めて怖さを感じました。

ただ、マイナスな面だけでなく、慣れ始めたこの時期に手綱を締め直すことが出来たこと、修理していく中で、よりいっそう、車を大事にしなければと言う思いを持ってました。これも、皆様の、そして社長のサポートがあるからこそ、次へのステップが踏めるんだと感謝し、考えさせられる一戦で有りました。

【村山】

リタイアしたSSは昨年、今年のラリーレッスンで何度も走った道でした。何度も走り込んだし、何度も読み込んだ道だったので心のどこかで“大丈夫だろう”、気を付けるのはSS3/SS6だ。と思い込んでいた気がします。

また、最近では澤井さんのスピードレンジが上がり、自分の感覚と合わない部分があることも自覚していました。今回のSS中もちょっとオーバー気味かな？でも澤井さんなら“大丈夫”と、その違和感を無視していました。

漠然とした“大丈夫”に甘えた結果、リタイアという最悪の結果となってしまいました。

今後続けていく中で、知った道が増えていきますが、「気を抜かない」「違和感は伝える」を改めて心がけます。また、スローなど補助語が少ないため、ペースノートのレベルアップもしていきたいと思います。

サポート・応援ありがとうございました。結果が残せず、本当に申し訳ありませんでした。